

JIS

産業車両ー オーバーヘッドガード及び保護構造

JIS D 6021 : 2025

(JIVA/JSA)

令和 7 年 8 月 25 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	田 辺 新 一	早稲田大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	片 山 英 樹	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	鐘 築 利 仁	一般財団法人日本規格協会
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 水 孝太郎	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	清 家 剛	東京大学
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	一般社団法人日本計量機器工業連合会
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	水 流 聡 子	東京大学
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	増 井 慶次郎	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	山 内 正 剛	国立大学法人信州大学

主 務 大 臣：厚生労働大臣，経済産業大臣 制定：昭和 59.3.1 改正：令和 7.8.25

官 報 掲 載 日：令和 7.8.25

原 案 作 成 者：一般社団法人日本産業車両協会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル TEL 03-3403-5556)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 田辺 新一)

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者，厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお，日本産業規格は，産業標準化法の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 乗車式車両のオーバーヘッドガードの要求事項	3
4.1 一般	3
4.2 保護範囲	3
4.3 寸法	4
4.4 試験	6
4.5 性能	10
5 運転席がブームによって保護されていないバリアブルリーチトラックの運転者保護の要求事項	13
5.1 一般	13
5.2 保護構造	13
5.3 寸法	13
5.4 試験	14
6 点検整備のための情報	14
参考文献	15
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	16
解 説	17

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本産業車両協会（JIVA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣及び経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS D 6021:2019** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。厚生労働大臣、経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

産業車両—オーバーヘッドガード及び保護構造

Industrial trucks—Overhead guards and protective structures

序文

この規格は、2023 年に第 4 版として発行された **ISO 6055** を基とし、我が国の実情に合わせるため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

ISO 6055 の第 4 版における第 3 版からの主要な変更点を、次に示す。

- 立席式車両の運転席床面からオーバーヘッドガード下面までのクリアランスを増やした。
- ラフテレインバリアブルリーチトラックを適用外機種とした。
- **4.3.1** に適合していないオーバーヘッドガード構造物の上部枠の開口部を埋めるために使用する透明部材の仕様及び試験要件を追加した。
- オーバーヘッドガード構造物の点検整備に関する情報並びに透明部材の点検及び手入れに関する情報について追加した。

この規格の今回の改正では、これらの対応国際規格の主要変更点に整合させるとともに、旧規格 (**JIS D 6021:2019**) では適用範囲を乗車式フォークリフトトラックに限定したために規定していなかった要求事項を、対応国際規格との整合化を図るため追加した。

1 適用範囲

この規格は、**JIS D 6001-1** 及び **ISO 3691-2** で要求しているオーバーヘッドガードを装備した産業車両（以下、車両という。）のオーバーヘッドガード並びに運転者の下肢保護構造及び運転席がブームによって保護されていないバリアブルリーチトラックの運転者保護構造の要求事項及び試験方法について規定する。

この規格は、ラフテレインバリアブルリーチトラック及びブームスイング機能付きラフテレインバリアブルリーチトラックには適用しない。

注記 1 オーバーヘッドガードについては、この規格の規定のほかに法規として労働安全衛生規則第 151 条の 17（ヘッドガード）があり、車種、用途などに応じてその規定を満足することとなっている。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 6055:2023, Industrial trucks—Overhead guards—Specification and testing (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。